水稲の生育状況と今後の管理対策（第 10 号）

令和元年９月５日
新潟県農林水産部

〔要約〕

生育状況

◎　コシヒカリの収穫適期は、県平均で平年より３日早い９月９日の見込みです。

◎　こしいぶきなどの早生品種は、すでに収穫期を迎えています。

今後の管理対策

◎　コシヒカリは、出穂後の気温が高く推移してきたことから、登熟の進みが早まっています。早めに籾の黄化率を確認し、適期に収穫しましょう。なお、地域別の収穫適期については、地域の技術情報を参照してください。

◎　早生品種は、晴れ間を逃さず、できる限り速やかに収穫しましょう。

◎　収穫直前のフェーン現象は、胴割粒の発生を助長します。低水分の籾は、送風温度を低めに設定し、胴割粒の発生を防止しましょう。

◎　未熟粒や着色粒・その他未熟粒が多い場合は、1.9 ㎜以上の篩い目（ふるいめ）*1 や色彩選別機で調製し、整粒歩合を高めて１等級の品位に仕上げましょう。

*1 篩い目：米粒を機械選別する際に使用する網目の大きさ。

［９月４日現在の生育］

○　コシヒカリは、７月下旬から８月中旬頃までの高温と、台風 10 号のフェーン現象による著しい高温により、平年に比べて登熟の進みが早まっています。

○　こしいぶきなどの早生品種は、すでに収穫期を迎えています。

［今後の生育見込み］

○　８月 27 日発表の１か月予報（８月 31 日から９月 30 日まで）によると、気温は平年より高い、降水量は平年並か多い、日照時間は平年並か少ない見込みです。そのため、収穫適期が早まると見られます。

○　コシヒカリの収穫適期は、平年より出穂期が早まり、出穂後の気温も高めに推移してきたことから、県平均で平年より３日早い９月９日の見込みです。

［当面の管理対策］

○　コシヒカリは、早めに籾の黄化率（黄化した籾の割合が 85～90％がめやす）を確認し、適期を逃さず収穫しましょう。なお、地域別の収穫時期については、地域の技術情報を参照してください。

○　刈り遅れは胴割粒の発生や穂発芽を助長します。こしいぶきなどの早生品種は、晴れ間を逃さずできる限り速やかに収穫しましょう。

○　乾燥作業は、毎時の乾燥速度が 0.8％以下になるよう設定して行いましょう。なお、青未熟粒の混入が多く、水分のバラツキが大きい場合は、胴割粒が発生する可能性があります。籾の水分が 18～20％まで低下したら一旦乾燥を停止し、半日程度貯留し、水分ムラを解消した後に適正水分まで再乾燥しましょう。

○　収穫直前のフェーン現象などで籾の水分が急激に低下すると、胴割粒の発生率が高まります。低水分の籾は、毎時の乾燥速度が 0.5％以下となるよう乾燥機の送風温度を低めに設定し、胴割粒の発生を防止してください。

○　未熟粒や着色粒・その他未熟粒が多い場合は、1.9 ㎜以上の篩い目や色彩選別機で調製し、整粒歩合を高めて１等級の品位に仕上げましょう。

○　収穫作業時のコンバインの転倒・転落や衣服・軍手などの動力部への巻き込みに注意しましょう。また、１人で作業する場合は、家族などへ行き先を告げるとともに、緊急時に連絡がとれるよう、携帯電話を身につけておきましょう。

〔補足資料〕

1　農業普及指導センターにおける生育状況

○　コシヒカリの稈長は指標値（生育のめやす）並です。出穂後 15 日及び 25 日の葉色は、ともに指標値より濃く推移しています（表１、図１）。

農業普及指導センターのコシヒカリ生育調査ほ結果

表１　県内全域のコシヒカリ生育調査ほ調査結果

項目	**本年値**	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
稈長 (出穂後 15 日)	**89 cm**	91 cm	並	98%
出穂後 15 日葉色 (SPAD 値)	**31.3**	31.0	並	+0.3
出穂後 25 日葉色 (SPAD 値)	**27.3**	27.3	並	+0.0

注）県内 15 か所に設置した生育調査ほの平均、田植日 5/11、栽植密度 17.5 株/坪。

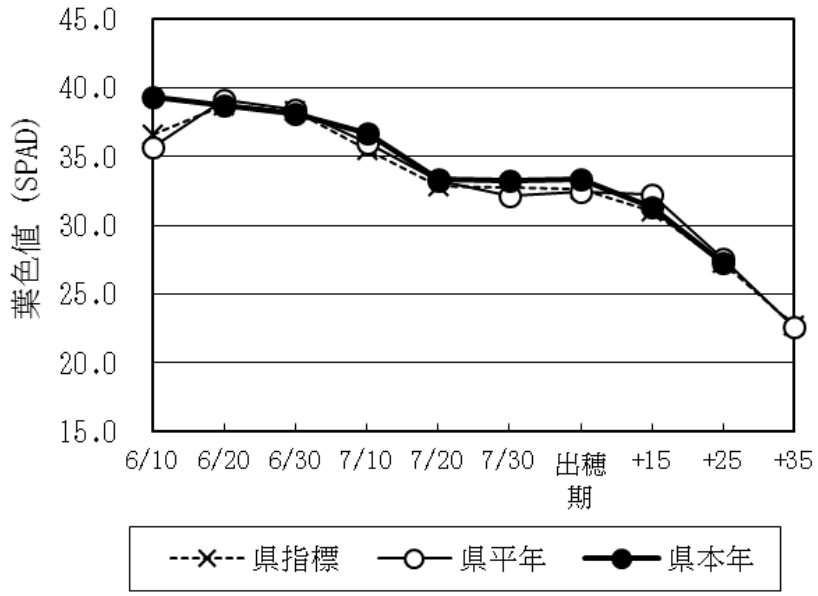

図１　生育調査ほコシヒカリの葉色推移

2　積算気温からみた収穫適期のめやす

○　収穫適期の出穂後積算気温は、出穂後５日から 24 日までの日平均気温の平均値が 26℃以上の地域では通常より 50℃早めます。出穂後の積算気温は、平年より３日程度早い見込みです。地域の気象条件や登熟速度などを十分に把握して、刈遅れによる玄米品質の低下を防ぐため、早めに籾の黄化率を確認して適期に収穫しましょう。（表２、表３）
○　平年に比べ、平均気温は、８月第５半旬以降やや低く推移し、日照時間は８月４半旬以降少なく、降水量は８月４半旬以降多くなっています（表４）。

表２　収穫適期のめやす

熟期	品種	出穂後積算気温（℃）	
		高温年	平温年
早生	こしいぶき、ゆきん子舞、わたぼうし、五百万石等	925	975
中生	コシヒカリ、こがねもち	950	1000
晩生	越淡麗	950～1000	1000～1050

注１）出穂後積算気温は、出穂期の翌日から起算する。
注２）高温登熟年の判断のめやす
①出穂後５日から 24 日までの日平均気温の平均値が 26℃以上（基部未熟粒の多発生）
②出穂後０日から 19 日までの日平均気温の平均値が 27℃以上（立毛胴割れ多発誘起）

表３　出穂後の積算気温

品種	年度	出穂期	出穂後積算気温（℃）	
			950	1,000
コシヒカリ	本年	８月３日	９月９日	９月 11 日
	平年	８月５日	９月 12 日	９月 14 日

注１）出穂期は普及指導センター調査の県平均。
注２）温度はアメダス村上、新潟、長岡、十日町、上越、相川の６か所の平均値を用いた。
注３）本年の出穂後積算気温は９月３日までは本年値、４日以降は平年値を用いて算定した。
注４）平年の出穂後積算気温はアメダス村上、新潟、長岡、十日町、上越、相川の６か所の過去８か年の平均値を用いて算出した。

表４　気象の推移（アメダスデータ）

観測地点	月半旬	平均気温（℃）		日照時間（時間）	（%）	降水量（mm）	
		本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年差
新潟	7月第5半旬	27.1	1.6	24.5	80	4.5	-21.0
	7月第6半旬	28.8	2.4	38.3	94	13.0	-9.9
	8月第1半旬	28.9	2.1	63.4	180	0	-19.2
	8月第2半旬	29.6	2.8	53.1	150	0	-20.8
	8月第3半旬	30.6	3.9	58.6	165	0	-22.2
	8月第4半旬	27.6	1.2	25.0	72	35.5	12.5
	8月第5半旬	25.1	-0.9	17.9	53	81.0	58.0
	8月第6半旬	24.0	-1.6	26.1	67	60.5	31.7
長岡	7月第5半旬	27.1	1.8	22.2	78	13.0	-15.8
	7月第6半旬	28.7	2.6	36.3	96	21.5	-2.0
	8月第1半旬	29.5	3.1	58.6	181	0	-17.9
	8月第2半旬	29.7	3.3	51.9	161	0	-22.0
	8月第3半旬	30.8	4.6	55.1	172	0	-26.2
	8月第4半旬	27.7	1.8	20.0	64	35.0	9.0
	8月第5半旬	24.6	-0.9	10.8	36	127.0	103.0
	8月第6半旬	23.7	-1.3	21.8	64	88.0	60.0
高田	7月第5半旬	27.0	1.4	18.1	62	1.5	-25.1
	7月第6半旬	28.6	2.1	39.0	100	16.5	-4.7
	8月第1半旬	29.0	2.2	53.9	162	0	-15.7
	8月第2半旬	30.0	3.2	55.1	169	0	-18.5
	8月第3半旬	31.1	4.5	45.9	143	0	-24.1
	8月第4半旬	27.9	1.6	23.9	76	79.5	50.6
	8月第5半旬	24.5	-1.4	14.7	49	79.5	50.1
	8月第6半旬	23.9	-1.5	20.6	59	102.0	68.7